

現在の子どもの様子		ねらい	行事	自己評価
<p>朝から園庭に出て身体を動かして遊ぶ姿が見られる。園庭での約束事を守りながら遊べるようになって来ている。</p> <p>梅雨の時期と言う事もあり、室内で過ごす時間も多くなってきている。その為、室内での遊びを充実させ、様々な道具や素材を準備する事で子ども達もアイデアを出しながら様々な物を作って遊んでいる。しかし、後片付けが不十分な事が多く、自分の作った物を大切にすることや、使った道具を元の場所に戻す等自然と出来様に引き続き伝えていく必要がある。</p> <p>生活面では、脱いだ服を畳む、歯磨きを丁寧にを行う等少しずつ出来る様になって来ている。</p>		<p>夏の健康的な過ごし方を身に付ける</p> <p>夏の遊びを楽しみながら、友だちや異年齢児との関わりを深める。</p> <p>夏の自然事象や植物等の成長に興味関心をもつ。</p> <p>様々な素材や道具を使い、考えたり試したり、工夫したりして遊ぶ楽しさを味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児集会 ・天王町保育園との交流 ・幼保交流 ・英語で遊ぼう ・お話し会 	<p>梅雨明けが早く暑い日が多かった。外で遊びたい子どもの姿から室内遊びを好む様になった。室内では様々な道具や素材を使って遊び、自分たちで遊びを展開させている。しかし、片付けが苦手な子どもが多く、その都度声を掛けると共に大人も一緒に片付けを行い部屋がきれいだと気持ちいい事を伝えた。遊びを考える事が得意な子どもも多いが、遊びを見付ける事が苦手な子どももいるため、様々な遊びを準備し、どの子どもも好きな遊びを見付ける事が出来る様にしていきたい。</p>
内容	環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り
<p>■夏の健康な過ごし方を学び、プール遊びを楽しむ。</p> <p>■安全に気を付けながら、全身を使ってプールで遊ぶ。</p> <p>■楽しさや思いやりの気持ちを持って、異年齢児とかかわる。</p> <p>■空・雲・雷などの変化や不思議さに気付く。</p> <p>■小動物の飼育を通して、気付いた事を伝え合ったり、疑問に思った事を調べたりする。</p> <p>■植物の成長を喜び、世話をしたり、収穫をしたりする中で数を数えたり、色や形、大きさなどを比べたりする。</p> <p>■自分の思いを相手にわかるように話をしたり、相手の気持ちを聞いたりしながら、生活や遊びを進める。</p> <p>■砂・水。泥の性質に気付き、試したり工夫したりしながら遊ぶ。</p> <p>■様々な素材を使って、遊びに必要な物を考えたり、工夫したりしながら遊ぶ。</p>	<p>■夏の健康な過ごし方を皆で話し合えるようにポスターなどを用意する。</p> <p>■水の危険性について話し、約束事を確認する機会を設ける。</p> <p>■遊びに必要な道具を用意しておく(ビート版・浮き輪・小物等)</p> <p>■異年齢児と関わり、遊べる時間や空間を設ける。</p> <p>■自由に見たり、調べたり出来る様に図書を用意しておく。</p> <p>■虫取り網や虫かごなどを準備しておく。</p> <p>■植物の栽培に必要な道具を準備しいつでも使える様にしておく。</p> <p>■グループやクラス全体で自分の意見を話せる場や時間を設ける。</p> <p>■自分たちで遊びを考えたり、工夫したり出来るような場所を確保し、必要な道具や素材を十分な量用意していつでも使える様にしておく。</p> <p>■継続した遊びが出来る様に、場を整えておく。</p> <p>■必要な道具を子ども達と準備しておく。</p> <p>■必要な道具を準備して、米を洗米する場所を清潔に保つようにする。</p>	<p>■自分から主体的に取り組んでいる姿を認め自信につなげ、習慣となるように関わっていく。</p> <p>■安全に遊ぶ事は自分だけでなく周りの友だちにとっても大切な事と言う事を伝えていく。</p> <p>■異年齢児と関わるなかで、相手の気持ちにも気付き、優しく接する姿を認め、異年齢児との関わりを広げていく。</p> <p>■子どもたちが興味を持つことを一緒に調べたり、保育に取り入れ、更に関心が高まるようにしていく。</p> <p>■小動物の世話や植物の栽培を行う中で、形や色、匂いなど違いに気付く事を受け止め共感していく。</p> <p>■自分の思いを上手く伝える事が出来ない時は言葉を補ったり、順序良く問いかけたりし、思いが伝わった嬉しさを感じられる様にする。</p> <p>■友達と思いを出し合いながら、協力して遊んでいる姿を見守り、必要に応じてアイデアやヒントを提供する。</p> <p>■子どものやりたい遊びやイメージしている事を聞き、一緒に考えながら必要に応じて用意しておく。</p> <p>■一人一人の工夫や発想を認め、自由に表現する方法を知らせたり友達のアイデアに気付けるようにする。</p> <p>■楽しいイベントになる様に一緒にスカイを買いに行ったりしながら安全の行える様にする。</p> <p>■毎日米を食べるだけでなく、どのような工程を経て炊いたご飯が出て来ているのかなど実際に体験して知る事が出来るようにする。</p>		<p>■自ら汗を拭く姿が見られる。</p> <p>■疲れが溜まらないように適宜室内でゆっくり過ごしなが遊ぶ時間も設ける様に過ごした。</p> <p>■プールに入る都度約束を確認しながらプール遊びを行う。中には約束を守れない子どもの姿が見られるため確認を行い安全に配慮しながら遊べるようにした。</p> <p>■ビート版やバスマットなどを使い顔を付けたり潜る、泳ぐと言った遊びを取り入れた。水を怖がる児が少なかった。</p> <p>■カレーパーティーや朝夕の合同保育を通しての関わりを作る事が出来た。</p> <p>■黒い雲を見て雨が降りそう、今日は晴れ、晴れているのに黒い雲が来たなど声を出す子がいるが暑さのせいもあり室内で過ごす事が多くなった為、雲を見る機会が少なかった。</p> <p>■カブトムシが成虫になりオス・メスの違いを話したり、家から飼育に必要な道具やえさを持って来る子ども、エサが無くなった事に気が付餌を入れる等の世話をする姿が見られた。</p> <p>■朝夕の時間にニュースの話などを行うと知っている事を話す子どもが多い。また一人の話に対して思った事を話す事で、話が盛り上がる事もある。中には言いたい事はあるが、なかなかうまく言葉にする事が出来ず大人が言葉を補いながら話す姿も見られる。</p> <p>■様々な素材や道具を保育室に置く事で遊びが広がる。様々なアイデアが出たり、工夫して作りそれを他の遊びに使う子どもの姿が見られる。</p> <p>■スカイの売っている場所を調べたり買いに行ったりしてスカイ割を楽しむ事が出来た。</p> <p>■破棄米を自分で炊くようになり、楽しみながら行う。食事の量も増えた。</p>
<p>■夏ならではの楽しみを味わう。(スカイわり)</p> <p>■毎朝自分で食べる白米を洗米し炊く事を体験する。</p>				

養護生・情(健・人・環・言・表)

食育